

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】九州地方環境事務所

番号	事業名	事業の概要(目的・実施方法・対策等)	事業主体(担当窓口)
1	屋久島世界遺産地域科学委員会・地域連絡会議等運営	<ul style="list-style-type: none">・屋久島世界遺産地域科学委員会の開催。・屋久島世界遺産地域連絡会議(R3.4月(R2予定分))の開催。・管理計画・モニタリング計画改定に向けた整理の実施(管理計画改訂作業部会を2回実施。)	・九州地方環境事務所
2	屋久島世界自然遺産・国立公園の山岳部における利用のあり方検討会	<p>屋久島世界自然遺産・国立公園の山岳部における適正な利用のあり方の検討を行って、山岳部適正利用のビジョンを定め、利用に関するゾーニングに基づく施設の整備、維持管理、利用者管理や情報提供の方策を検討し、質の高い利用体験の提供や利用の増加・集中から生じる自然環境や利用体験への影響の回避・低減に資する。</p> <p>※検討会を2回開催。R3年度末にビジョン策定予定。</p>	・屋久島自然保護管事務所

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】九州地方環境事務所

<p>3</p>	<p>屋久島国立公園におけるヤクシカ保護管理対策推進業務</p>	<p>屋久島国立公園を中心とした保護地域におけるヤクシカの個体数管理のための管理捕獲と計画的に推進することを目的として、過年度業務の結果を踏まえ以下を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤクシカ生息状況把握(糞塊法105箇所、糞粒法15箇所)、相関分析 <ul style="list-style-type: none"> ※森林管理局、鹿児島県より情報提供の協力 ・R2年度のヤクシカ捕獲状況の把握 <ul style="list-style-type: none"> ※森林管理局、屋久島町より情報提供の協力 ・植生保護柵内外の植生等調査(小杉谷、花山歩道ほか) ・西部林道におけるヤクシカ計画捕獲の実施 ・林道でのシャープシューティング体制による計画捕獲実施 実施路線：小楊子林道24支線、小楊子林道栗生支線 <p>スケジュール：</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月 関係機関会合(実施計画等) 9-10月 周知・諸手続・その他準備等 11月 関係機関会合(直前打合せ)、捕獲準備等 実弾試験捕獲実施 2月 関係機関会合(評価等) <p>※関係機関の実施体制組織への参画、個別課題への対応等の協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SS体制によるヤクシカ計画捕獲の実施に係る関係機関の理解促進 ・SS体制による5年間の試験捕獲・計画捕獲実施の成果と課題、今後の展望を整理 ・次年度以降のSS実施箇所候補地下見 	<p>・屋久島自然保護管事務所</p>
<p>4</p>	<p>屋久島における国内希少野生動植物種等の保護対策検討業務</p>	<p>国内希少野生動植物種に指定された希少植物等について、生育状況の把握、保護対策の実施・検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H31年2月に新規指定された国内希少野生動植物種等の生育状況把握 ・植生保護カゴ設置済のヤクシカ、ヤクシカニシキの生育状況調査 ・絶滅危惧植物・固有植物の生育地点の記録 	<p>・屋久島自然保護管事務所</p>

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】九州地方環境事務所

5	屋久島登山道整備業務(国立公園等整備費)	宮之浦岳縄文杉線(淀川登山口～平石岩屋の間)の浸食防止工等の設計	・九州地方環境事務所 ・屋久島自然保護管事務所
6	屋久島登山道整備業務(国立公園等整備費)	淀川登山口休憩棟の設置工事	・九州地方環境事務所 ・屋久島自然保護管事務所
7	屋久島地区登山道巡視等委託業務(国立公園等維持管理費)	淀川登山口から平石岩屋、焼野三叉路から鹿之沢小屋までの直轄整備区間、及び各登山口標識の巡視・補修・清掃(付帯の携帯トイレブースを含む)を2月に一回行うとともに、簡易な補修やササ刈り等を実施。	・屋久島自然保護管事務所
8	グリーンワーカー事業(屋久島登山道補修事業)	土壌浸食等により破損、崩壊が見られる登山道において、利用者の安全を図るため、簡易な補修を実施。(公園事業未執行区間)	・屋久島自然保護管事務所
9	屋久島地区携帯トイレ導入推進事業(世界遺産管理費)	屋久島山岳部での携帯トイレの導入推進に係る関係者へのヒアリングを実施。	・屋久島自然保護管事務所
10	登山者カウンターによる利用動向の把握	屋久島山岳部の利用動向を把握することを目的とした自動観測装置(カウンター)による調査を実施。 (6箇所:縄文杉ルート、淀川登山口、高塚小屋-新高塚小屋間、太忠岳登山道、龍神杉登山道、尾之間歩道淀川口)	・屋久島自然保護管事務所
11	特異な自然景観資源の現状把握	島内全域において、資源の規模、形態等に著しい変化がみられないことを把握するために、写真撮影による定点モニタリングを実施。 (12地点:うち14地点は林野庁と共同実施。世界遺産地域外を含む)	・屋久島自然保護管事務所

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】九州地方環境事務所

12	登山道周辺の荒廃状況、植生変化の把握	登山利用による周辺植生の影響が懸念される稜線部において、植生荒廃状況を把握するために、写真撮影による定点モニタリングを実施。 (8地点：焼野三叉路周辺2、投石岳周辺3、投石平南、永田岳東、安房岳北)	・屋久島自然保護管事務所
13	気象データの測定	西部、東部、新高塚小屋等において、気温、湿度、地温等の気象データを観測。 (11地点：大川の滝、小楊子林道、花山歩道4、ヤクスギランド、淀川登山口、新高塚小屋)	・屋久島自然保護管事務所
14	アクティブ・レンジャーの配置	世界自然遺産地域を中心とする屋久島国立公園において、自然保護官を補佐して、「パトロール」「環境学習活動」「自然環境調査」等を行うアクティブ・レンジャーを2名配置。	・環境省 ・九州地方環境事務所
15	生態系保全等専門員の配置	世界自然遺産地域を中心とする屋久島国立公園において、シカ対策等を行う「生態系保全等専門員」(専門的知見を有する期間業務職員)を1名配置。	・環境省 ・九州地方環境事務所
16	屋久島世界遺産センターの運営	環境情報の収集、屋久島の自然環境に関する情報提供の場として展示ホールなどの一般公開。	・環境省 ・九州地方環境事務所
17	自然に親しむ集い(自然観察会)	自然体験、環境教育を推進するために地域住民を対象に例年、年3回開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	・環境省(屋久島自然保護官事務所) ・屋久島町 ・(財)屋久島環境文化財団
18	屋久島国立公園パークボランティアの運営	主に国立公園内の美化清掃及び保護管理活動を充実するため、地域住民の自発的協力により利用地点の美化清掃及び外来種駆除活動等を実施。	・屋久島自然保護管事務所

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】九州地方環境事務所

19	出前授業等の実施	自然体験、環境教育を推進するため、地元小学校等において出前授業等を実施。	・屋久島自然保護管事務所
20	屋久島における自然資源の持続的な活用方策検討業務	<p>屋久島では公的資金に加え、募金や協力金などの利用者負担の仕組みによって各種事業を実施しているが、利用者負担制度には多くの課題が認識されており、そのあり方についてより詳細な検討が求められている。そのため、屋久島における協力金等に関する調査を実施し、自然資源の持続的な活用方策の検討を行って、地元自治体の取組みを支援することにより、適正な利用者負担制度のもとで持続的に自然資源を活用できる体制づくりに資することを目的として以下業務を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力金等に関する現状と課題の把握・整理 ・山岳部における自然資源の持続的な活用方策の検討 ・ウミガメやその繁殖地域における自然資源の持続的な活用方策の検討 ・関係会議の開催・運営支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地方環境事務所 ・屋久島自然保護管事務所
21	屋久島国立公園内直轄施設適正利用検討業務	<ul style="list-style-type: none"> ・新高塚小屋トイレの土壌処理方式の有効性調査、10年間の運用状況評価及び維持管理マニュアルの作成と改善策提案 ・不具合箇所修繕に向け各種調整(予定) 	・屋久島自然保護官事務所
22	屋久島国立公園におけるモニターツアー実施業務	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の国立公園コンテンツ集2020」掲載コンテンツの評価及び魅力向上、誘客強化のため、外国人参加者を含む8名へモニターツアーを実施 ・実施風景を撮影し映像素材としたほか、参加者によるSNSを通じた魅力発信を実施 	・屋久島自然保護官事務所
23	屋久島国立公園における適正利用の推進を目的とした情報発信サイト構築業務	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島世界遺産センターHPの更新 ・世界遺産に関する情報、登山情報等をより見やすいデザインで提示 ・「屋久島山岳ビジョン」の成果を反映し、コースごとの利用体験ランクや特徴、注意点を掲載 	・屋久島自然保護官事務所

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】九州森林管理局

番号	事業名	事業の概要(目的・実施方法・対策等)	事業主体(担当窓口)
1	保護林整備・保全対策事業	<p>1 生態系モニタリング調査</p> <p>(1) 屋久島東部地域垂直方向の植生モニタリング調査</p> <p>(2) 高層湿原の植生状況モニタリング調査及び保全対策の検討、「高層湿原保全対策検討会」の開催</p> <p>(3) 森林生態系における気候変動の影響のモニタリング調査</p> <p>2 著名ヤクスギ樹勢診断等</p> <p>縄文杉の経過観察及び登山道周辺著名ヤクスギ診断(川上杉)を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・九州森林管理局 ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター
2	巡視事業	職員による巡視は、ゴールデンウィーク期間、ヤクシマシャクナゲの開花時期及び夏休み期間中に重点的に実施(GSSによる巡視活動は別途)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター
3	大気環境に係る基礎的なデータの観測・収集等	貴重な森林の保全と植生変化の状況把握及び山地災害防止に資するため、国有林野内において降水量及び気温を観測し、データを研究機関等へ提供	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島森林生態系保全センター
4	自然休養林の利用に係る基礎的なデータの収集	<ul style="list-style-type: none"> ・自然休養林(荒川地区(ヤクスギランド)、白谷地区(白谷雲水峡))における施設利用者数を整理・把握 ・自然休養林内の歩道周辺の危険木調査、必要な箇所の危険木処理 ・企業ボランティアの実施 ・森林景観を活かした観光資源の創出事業による整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島レクリエーションの森保護管理協議会 ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】九州森林管理局

5	地域連携推進対策事業	<p>1. 森林保護員による巡視等 世界自然遺産地域の適切な管理を行うため、森林保護員（GSSグリーン・サポート・スタッフ）を雇用、年間を通して中断のない巡視を行い、次の業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植生荒廃等の把握、盗採・盗掘・樹木損傷等の通報 ・巡視を通じて入り込み者への利用マナーの指導、危険行為の防止等及啓発活動を行うほか、簡易な補修等を含め実施 ・パトロール結果は、巡視記録として取りまとめ報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島森林生態系保全センター
6	普及啓発事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広報紙「洋上アルプス」の発行、HPの随時更新、林野巡視等で得られた屋久島の動植物、登山情報等について、適時に情報提供、普及啓発を実施 2. 屋久島世界遺産地域に関する自然環境の情報、各種調査報告等についてHP等を通じて、地元、一般国民等へ情報提供を行い普及啓発を推進 3. 森林、木材利用、環境問題、世界自然遺産地域等について森林環境教育等を実施 4. 屋久島森の塾を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・九州森林管理局 ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター <p>(関係機関と連携)</p>
7	ヤクタネゴヨウ保全対策	<p>ヤクタネゴヨウ保全対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マツ枯れ対策連絡協議会の開催 2. 周辺マツ林に松くい虫が発生した場合の被害未然防止対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター
8	調査研究連携事業	<p>屋久島の国有林を調査研究フィールドとする研究者等と連携し、情報交換を行い（調査概要、研究報告書の提供等）、今後の世界自然遺産保全対策の検討等業務への活用や一般へ普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】九州森林管理局

9	野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備事業	<p>1. ヤクシカ被害総合対策 ヤクシカの生息頭数の増加に伴う採食圧により下層植生や希少種の消滅等が懸念されており、森林の多様性の保全や国土保全等の観点から早急に対策を講じる必要があるため、関係機関とも連携しながら森林生態系の管理目標に関する現状把握・現状評価等を行うとともに植生の保護・再生方策、ヤクシカの個体数調整方策等を含むヤクシカ被害に関する総合的な対策を推進 (平成21～令和3年度)</p> <p>2. 植生保護柵の維持管理 シカ食害の増加に伴い管内に設置している植生保護柵等の巡視、維持管理(職員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・九州森林管理局 ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター
10	屋久島国有林内のシカ食害を防ぐためのシカ対策の取組	<p>1. シカ食害を防ぐため、平成22年度から職員実行によるシカ捕獲の取組みを継続</p> <p>2. 民国境で地元猟友会が有害鳥獣捕獲を実施</p> <p>3. 森林生態系の保全のための植生の保護・回復、屋久島のシカの順応的管理に資することを目的として、委託によるシカの誘引捕獲事業を実施(平成27年度から継続)</p> <p>4. 森林生態系保全等のため、屋久島町、地元猟友会とシカ捕獲に関する3者協定締結(平成22年度)によるシカ捕獲の取組みを継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター
11	屋久島署管内国有林における外来種侵入状況調査の取組について	屋久島署管内国有林(屋久島・種子島)における外来植物(アブラギリ)について、平成31年度まで侵入繁殖箇所の把握調査と国有林内の外来植物侵入分布図作成を行い、今後想定される適正な森林育成環境に向けて駆除対策等の参考資料とする	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島森林管理署 ・屋久島森林生態系保全センター
12	世界自然遺産地域の森林生態系における気候変動の影響のモニタリング等事業	我が国の世界自然遺産への気候変動の影響を把握するため、そのモニタリング調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・九州森林管理局

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】鹿児島県

番号	事業名	事業の概要(目的・実施方法・対策等)	事業主体(担当窓口)
1	屋久島環境文化村整備推進事業 (山岳部利用対策)	1 山岳部の自然環境保全対策等として ・マナー啓発のためのリーフレット等の作成 ・縄文杉周辺等での監視指導員の配置 2. 協議会, 担当者会議等を通じて, 屋久島山岳部環境保全協力金の納入推進や活用について検討・協議を行った。	屋久島山岳部保全利用協議会 (事務局一屋久島町)
2	自然保護推進員	自然保護推進員2人(県内51人)を設置し, 自然保護思想の高揚等を図った。	県自然保護課
3	屋久島環境文化村構想の推進	「屋久島環境文化村構想」を推進するため, 屋久島環境文化村中核施設の管理運営を行った。 また, 屋久島環境文化村中核施設整備(浴室窓枠等補修工事, 非常用放送設備改修工事等)を行った。	県自然保護課
4	希少野生動植物保護対策事業	県内に生息・生育する希少な野生動植物を保護するため, ・種の指定による保護(50種(屋久島関係14種)の捕獲・採取等を禁止) ・パンフレットの作成等による普及啓発活動 ・普及啓発, 調査, 助言等を行う希少野生動植物保護推進員の設置(64名:屋久島在住4名)等を実施した。	県自然保護課
5	特定鳥獣総合管理対策推進事業	・指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定のための検討委員会の開催。 ・指定管理鳥獣捕獲等事業の実施に向けた, ニホンジカ(ヤクシカ含む)の生息状況調査。 ・指定管理鳥獣捕獲等事業の実施	県自然保護課

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】鹿児島県

6	観光施設管理事業	自然公園施設の維持管理 ①事業箇所：大株歩道入口トイレ，登山歩道，新高塚避難小屋ほか ②事業内容：トイレ・避難小屋清掃，登山歩道の維持管理ほか	県観光課
7	登山歩道整備事業	直轄施行委任事業により，宮之浦岳縄文杉線道路（歩道）における，大王杉周辺の迂回路（約80m）を整備。	県観光課
8	避難小屋修繕事業	鹿之沢避難小屋について，内部及び入口扉の修繕工事を実施。	県観光課
9	文化財保護指導委員設置	県内8地区に30人の文化財保護指導委員を配置し（屋久島地区1人），地域に所在する国・県指定文化財等の現状を巡視によって把握し，文化財保護に資する	県教育庁文化財課
10	観光客の分散化（県地域振興推進事業）	屋久島の新たな魅力再発見・発信事業 ① 里地の観光振興 ・里地の観光地等調査及び観光客へのアンケート調査 ・里地の観光モデルルート作成 ・里地の魅力発信（Web等でのPR動画配信及びPR冊子作成） ② 農林水産業と観光の連携 ・先進地からの講師による研修会 ・地元農林水産物を宿泊施設等で利用する際のPR支援	県熊毛支庁屋久島事務所総務企画課

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】屋久島町

番号	事業名	事業の概要(目的・実施方法・対策等)	事業主体(担当窓口)
1	林地活用対策事業 (屋久島総合自然公園運営事業)	自然資源の価値を損なうことなく活用していく方策として、屋久島固有の植物を保護・増殖することにより、生態系の保全・環境学習の拠点づくりを進めた。	観光まちづくり課
2	エコツーリズム推進事業	令和元年度から再開したエコツーリズム全体構想の策定に向けた部会を開催したが、コロナ感染拡大の影響もあり、予定スケジュールどおりにはいかなかった。 屋久島学試験は、さらなる問題数の確保に取り組んだ。試験も予定どおり実施できた。 ウミガメ保護利用専門部会では、観察会のあり方と全体構想策定部会における特定自然観光資源の方向性について協議した。 ※本資料作成段階(2/15現在)で、全体構想策定部会は終了していない。	観光まちづくり課 (屋久島町エコツーリズム推進協議会)
3	世界自然遺産屋久島山岳部環境協力金事業	世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金の収納のほか、し尿搬出業務の執行、バイオトイレ・淀川登山口トイレ・携帯トイレブースの管理など施設の維持管理、マナー啓発のためのリーフレットの作成、縄文杉周辺での監視指導員、縄文杉登山のメインルートである町道荒川線において、過剰な車両乗り入れによる環境負荷の軽減と混雑緩和のために3月1日から11月30日までの間、車両乗り入れ規制を実施した。	観光まちづくり課 (屋久島山岳部保全利用協議会)
4	ウミガメ保護監視業務	絶滅のおそれのあるウミガメの保護のため、各海岸に監視員を配置する。	観光まちづくり課
5	屋久杉自然館管理事業	屋久島の自然に関する特に屋久杉に関する資料の収集及び展示、また住民向けの体験活動を行う。	観光まちづくり課

令和3年度屋久島世界遺産地域における事業実績(令和4年2月時点)

【作成機関】屋久島町

6	屋久島・口永良部島 ユネスコエコパーク 活動の推進	JBRN（日本ユネスコエコパークネットワーク）と連携協定を締結している（公財）イオン財団と、九州内BR（祖母・傾・大崩、綾）とともにイオン福岡店舗内での「ユネスコエコパークフェア」開催に向け準備していたが、新型コロナの影響で規模縮小し、パネルや紹介映像の展示のみとなった。	観光まちづくり課
7	世界自然遺産地域 ネットワーク協議会 の運営	令和3年7月に世界自然遺産登録された「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の構成市町村へのお祝いメッセージとともに、本協議会への加入呼びかけを行った。 本年度は、新型コロナの影響を考慮し、開催見送りとなった。	観光まちづくり課